

# MOVE!

子どもが動く授業へ

組織的に動く学校へ

平成27年度  
佐伯教育事務所通信

NO.16

発行者 米持 武彦  
編集者 姫野 賢一  
平成27年6月24日

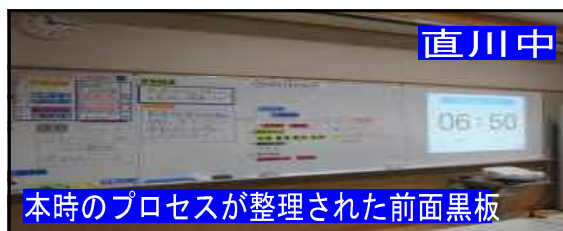
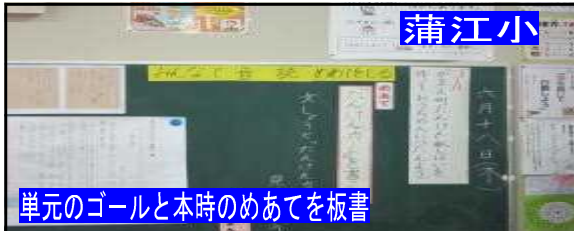
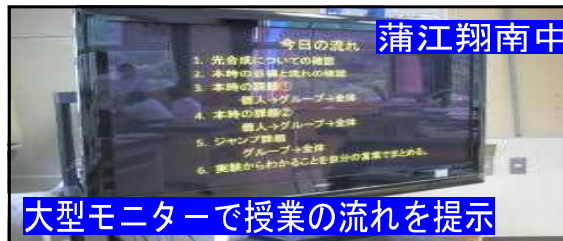
学校訪問シリーズ その7

—直川小 直川中 蒲江小 蒲江翔南中—

## ユニバーサルデザインの良さを取り入れた取組

今回の訪問校は、ユニバーサルデザインの良さを授業に取り入れる取組を積極的に進めています。ユニバーサルデザインの良さを取り入れた授業は、すべての児童生徒にとっての「分かる・できる」を保障する教育（学級・授業）です。そのために、小・中合同の研究テーマを設定して、一時間の授業の流れを板書したり、ICT機器を活用したりする等の取組を進めています。

特に、蒲江翔南中では、各教科の特質を生かしつつ、可能な限り授業の進めた方の「型」を統一する取組を行い、児童生徒相互の交流を通して、学びに向かう力の育成に取り組んでいます。

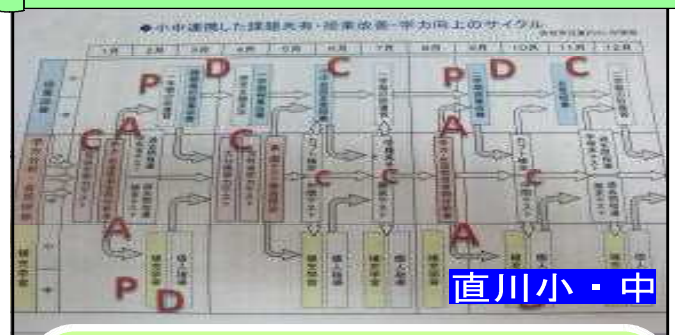


「子どもが動く授業」への改善・充実の取組



単元のゴールを明確にし、学習内容を整理する進捗表を活用して授業を進めています。

「組織的に動く学校」への改善・充実の取組



小・中学校が連携して、学力向上や授業改善の課題共有を行う組織的な会議が行われています。

ユニバーサルデザインの良さを取り入れた授業改善に取り組むことは、「わかる・できる」学習につながり、児童生徒の学ぶ力と意欲向上につながります。県教育センター作成の「学級・授業づくりハンドブック」をご参照下さい。